



学校法人別府大学 明星小学校 令和5年度学校だより

第14号



# Myojo Kirari

【令和5年11月17日発行】

発行者 校長 米持 武彦

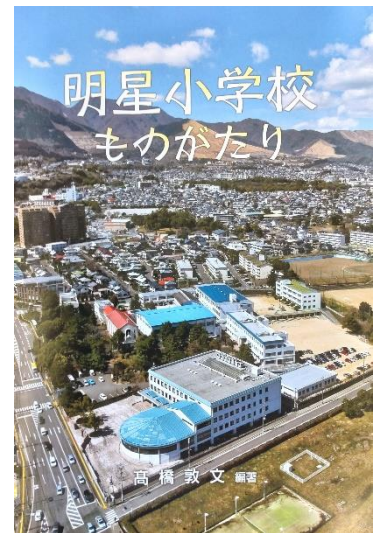
## 「明星小学校ものがたり」—図書館蔵—

本校図書館の蔵書、「明星小学校ものがたり」(2011 高橋敦文 編著 ※14代校長)をご存じでしょうか。

全校朝礼にて、コロナ前の日程に戻した5年生の修学旅行の概要や意義をお知らせした際に、「修学旅行も、教育方針に基づいて、変わってきています。昭和の終わりから平成のはじめには、富士の聖母像を訪ねるなど5泊6日の修学旅行がなされており、そのことが図書館の『明星小学校ものがたり』に書かれてあります。宇宙港もできたし、未来は月に旅行するかもしれません」と紹介したのもあってか、この本を借りる子どもが増えたそうです。図書館には本日6冊備えました。

本には、昭和22年の明星学園としての小学校の設立にはじまり、別府大学への移管や、それぞれの教育方針に応じた行事等の変遷や継承、様々ないきさつが整理されています。児童の皆さんには、卒業までにぜひ一度、読んでもらいたい本です。少しだけネタバレします。

- 明星小学校は昭和22年4月開校。⇒当年度卒業生を1期として、現在の6年生が77期。
- 当初の校訓は「清い心」「たゆまぬ努力」⇒心を育てる教育を引き継ぎ「誠実な心」「たゆまぬ努力」。
- 以前の火曜日は「英語の日」、「英語学習発表会」⇒「イングリッシュタイム」に変貌して実施中。
- 昭和から続く「運動会」「マラソン大会」「なわとび検定」⇒コロナ5類移行を経て日程内容を再開。発刊後12年。今もまた、未来に向けて新たな物語が創られており、本になるかもしれませんね。



### ◇11月16日(木) 持久走大会試走を実施しました!

先週、好天気の中、持久走大会を実施いたしました。風もなく、それぞれのペースで、芝グラウンドでの練習の成果を試すことができました。「トップグループの2位で走りながら、最後に抜きたい」など戦略を立てて臨む子や、「得意ではないけど、走ることは好き」という走を楽しもうとする子もいました。おそらく、苦手な子もいたことでしょう。しかし、参加した子どもたちは最後まで走りきり、見学者もゴールテープ係を担当してくれる等、みんなで試走会を楽しみました。



コロナ禍、様々に体力が低下している話もお聞きしますし、進んで運動する習慣は、生涯の財産になると思います。1日の本大会に向けて、自分のペースで走り抜くよう励ましてください。

今回のベストタイムは、【低学年1km】1年：5分47秒(小野煉之助くん)、2年：4分55秒(諫山太一くん)、【中学年1.2km】3年：5分14秒(矢野彰吾くん)、4年：5分10秒(森清一郎くん)、【高学年1.5km】5年：6分57秒(二宮大輔くん)、6年：6分29秒(林蔵人くん)でした。